



自治労HP



ご意見  
フォーム



# じちろろ

自治労中央機関紙

発行所  
全日本自治団体労働組合  
東京都千代田区六番町1  
TEL 03-3263-0273  
FAX 03-5210-7422  
定価一部30円  
(組合員の購読料は  
組合費の中に含む)

## 新委員長 インタビュー

# 人生捧げた労働運動40年 次の世代につなげる一歩を



第97回定期大会で選出された石上千博委員長。これまでの「自治労人生」と、これからの運動のかじ取りに懸ける思いを語ってもらった。  
その鋭いまなざしで見つめる先には—。



### いしがみ ちひろ 石上千博 中央執行委員長

1964年生まれ。北海道本部・自治労富良野市労働出身。妻と3人の子どもの5人家族。長女は自治労、長男は全水道の組合員。趣味は読書・映画鑑賞。アディダス愛好家歴35年。

とにかく好きでやってきた

高校卒業後、富良野市役所に入庁し、学校給食センターに事務職として配属された。そこで、大先輩の現業組合員に何度も取り囲まれ、根負けして現業評議会事務局長を受けたことがこの道の始まり。単組執行委員も担い、それ以来一度も休むことなく40年間組合役員をしている。

政権交代をもう一度

2009年9月1日、私の本部総合政治政策局長の就任同日に、民主党政権が誕生。自治労の社会的影響力がかつてないほどに大きくなった。毎日のように政府関係者と政策協議を重ねる多忙な日々であったが、そこでしかできない労働運動の真価を体験した。

立憲民主党を推せない組合員へ

自治労組合員の声を一番聞く政党は立憲民主党だ。めざすべき社会の姿が一致しているし、政策への影響力の観点からも、自治労は立憲民主党を推す。

一本心では三歩前へ

函館大会では全国の組合役員に対して、ともに一歩前へ踏み出そうというメッセージを送った。具体的な

「一歩」としては、多忙な中でも組合役員は、組合活動にどうにか毎日1時間ずつでも費やして欲しいということ。

今、労働運動はなかなか成果が出ない。しかし、自治労運動が70年間継承されていることが最大の成果。私たちが一歩踏み出せば、それが次の世代へとつなげる道となる。一歩と言わず三歩くらい前に進めたいというのが私の本心だ。

組合役員として、国鉄分割・民営化や自社連立政権の誕生など激動の時代を歩んだ。労働運動は私の人生そのもの。とにかく好き

当時、民主党が政策の軸としていたチルドレンファーストや介護保障、看護人材確保などの政策は、今ごろになって政権が議論

与党批判ばかりしているイメージがあるかもしれないが、野党第一党とし

## 原発も化石燃料もいらない 再エネ100%のミライを創ろう

原発にも化石燃料にも依存しない社会の実現をめざす集会「ワタシのミライ〜再エネ100%と公正な社会をめざして」が9月18日、東京・代々木公園で開かれた。

この集会は昨年まで「さようなら原発」全国集会として開かれていたものを、今年は気候変動問題などに取り組む市民団体などとも共同して開催。約8,000人が集まった。自治労は関東甲を中心に参加した。

集会では、メインステージでの福島汚染水放出問題などのテーマトークに加え、気候と人権などテーマ別ミニステージや音楽ライブ、ビーガン料理のレストランカーも出展するなど、多彩な催しが行われた。

集会後、参加者は2コースに分かれてデモ行進した(写真)。



残暑でなく猛暑の中、石上委員長(最前列右から2人目)を先頭に「脱原発」「化石燃料NO」をアピール

自治労組合員のみなさんへ

広げよう!!

## たすけあいありがとう

キャンペーン期間 ※抽選は2回に分けて実施します。  
2023.10.1 ▶ 2024.5.31

自主福祉運動は、組合員自らの手で「助け合い」を形にする共助の運動です。助け合いの輪が大きくなるほど、ひとりひとりの安心も大きくなります。自治労は、非営利の生活協同組合である「じちろろ共済」の各種共済を助け合いの共済として推進しています。「じちろろ共済」は、2023年6月に「こくみん共済coop」と統合10周年を迎え、自治労はさらに助け合いの輪を広げるために「広げよう!たすけあい ありがとうキャンペーン」を実施します。

組合活動に参加してキャンペーンに応募しよう!

キャンペーン期間中に、組合で開催する自主福祉運動や共済制度に関する学習会等へ参加していただいた組合員を対象に「抽選」で賞品を進呈します。また、抽選キャンペーンへの応募1件につき、100円を子ども食堂へ寄付します。詳しくは組合までお問い合わせください。

抽選で賞品が当たる!

世界的大人気 / Hydro Flaskのボトル

あなたの参加が子ども食堂への寄付に!

自治労本部 共済推進委員会

2023 確定闘争

# 組合員に寄り添う1歩を踏み出し 人勧超える賃金改善を勝ち取ろう

秋季・確定闘争が始まる。8月の人事院勧告は、全職員の月例給の引き上げと期末手当部分を含む一時金の引き上げを勧告した。これを上回る賃金改善をめざして「一歩前へ」踏み出そう。自治労本部の亀瀧真人労働条件局長に、取り組みのポイントを聞いた。



**プロフィール**  
亀瀧真人(かめたきまさひと) 労働条件局長  
78年生まれ。2001年に島根県・旧伯太町(現・安来市)に入職。単組委員長、県本部副委員長などを経て、第97回定期大会で中央執行委員に就任。

## 人事院勧告のポイント

- ①民間給与との較差3,869円(0.96%)を解消するため、初任給を高卒12,000円、大卒11,000円引き上げるとともに、若年層に重点を置き、そこから改定率を逡減させる形で俸給表全体を引き上げ
- ②ボーナスを0.10月分引き上げ(4.40月→4.50月)、期末手当および勤勉手当に0.05月分ずつ均等に配分

## 4つの重点課題

- 給与の引き上げ改定をおこなうこと。
  - 中途採用者の賃金改善をおこなうこと。
  - 賃金の運用改善にむけ、「1単組・1要求」を行うこと。
  - 会計年度任用職員への勤勉手当支給にむけた条例改正を行うとともに、常勤職員との均等・均衡に基づいた処遇改善を行うこと。
- また、給与改正にあたっては常勤職員と同様に遡及改定を行うこと。

## 産別統一闘争日程

- ◆交渉ゾーン 11月第2週
- ◆交渉のヤマ場 11月9日(木)
- ◆全国統一行動日 11月10日(金)  
(2時間ストライキを上限)

### 「4つの重点課題」

「4つの重点課題」を設けています(左囲み下)。まずは、8月の人事院勧告(左囲み上)、これから出される県・政令市等の人事委員会勧告を踏まえた給与の引き上げ改定です。月例給は初任給をはじめ、すべての年代の職員の賃金の引き上げを、一時金について、支給月数の引き上げと期末手当に重点を置いた配分を求めていきます。

さらに、物価高騰を踏まえた諸手当の改善を求めます。組合員の声に応えるため、人勧の給与引き上げを最低基準として、これを上回る改善をめざします。

### 次に、中途採用者の処遇改善です。

中途採用者は、同様の職務を担う職員に比べて給料が低い場合があります。同年度の新卒採用者の給料を基本に、初任給、昇格の改善を求めます。

会計年度任用職員については地方自治法の改正を踏まえて、2024年4月から勤勉手当の支給ができる条例改正に取り組みます。また、給与改定を常勤職員と同様に4月に遡るよう求めます。制度改正は処遇改



闘争の経験と課題をヨコ展開 成果獲得の決意固め合う

9月13日に開いた県本部労働条件担当者会議では、統一闘争の進め方と確定闘争の獲得目標の設定について、参加者がグループ討論。「統一闘争への単組結集には早めの日程設定が大事」「全単組オルグで状況を把握しよう」「初任給改善、昇格運用の改善などの好事例の提供を」などの意見が出され、全体で共有した。

### 「統一闘争」の意義

善と組織化のチャンスです。これらの課題に加え、「1単組・1要求」として、賃金運用の課題を単組の事情に応じて設定してください。

ろえて全単組一斉に行動するものが「統一闘争」です。労使関係は自治体単組ごとに別々でも、同時決着を意識し、県内の全単組が一体となって、粘り強く交渉します。県本部は単組執行部としっかりした信頼関係を築くことが大切です。組合員の声を集めて要求へ求めたものでなければなりません。単組の執行部が職場に入って、組合員の声を集める場面を作ることが必要です。私の単組では、職場オルグに加えてグループホームを使って組合員アンケートをして、組合員の声を集めています。運動方針のスローガンのように、組合員に近づこう「一歩前へ」踏み出し、秋季・確定闘争を進めたいと思います。

カテゴリにあうアイコンを選択(写真右)。コメントを入力すると、グーグルマップに表示され瞬時に情報共有できる(写真左)



自治研チャレンジサポート『地域情報アプリ』を実験

## 市民・学生と協働@相模原 まちの魅力を発見・共有・発信

優れた自治研活動の企画を本部が応援する「自治研チャレンジサポート」。2022年の静岡自治研集会で選ばれた相模原市職労の「地域情報収集アプリ」作成企画の「実証実験」が9月3日、相模原市の麻布大学とその周辺地域・淵野辺地区で行われた。

どの地域の問題まで、15のアイコンが並ぶ(写真上/右)。参加者がそれらをカテゴリごとに登録するとグーグルマップ上に表示され、即時に全体での共有ができる仕組み(写真上/左)。これは、グリーンマップ(下段解説/右)という手法に基づくものだ。

この取り組みは、市内にある麻布大学の村山史世准教授とそのゼミ生有志が呼びかけによるまちづくりの市民活動の一環。市職労が中核を担う相模原自治研センターも、積極的に市民・学生と協働して活動している。



「AppSheetは無料または安価で、IT技術者でなくてもアプリが作れる。操作も簡単です。自治研活動のまち歩きツールとして、全国で活用できるのではないのでしょうか」と、市職労の武田秀雄委員長(同自治研センター理事長)は話す。

この日は、市職労組合員、地元商店街の世話役や子ども連れの市民、麻布大学の学生など23人が参加。グーグルのAppSheet(下段解説/左)をベースに開発した地域情報収集アプリを実際に使って、グループごとに同大キャンパスや周辺地域を歩き、見つけたスポットを写真に撮り、コメントを入力した。

来年の全国自治研集会和地域政策への活用をめざした相模原での学生との協働の取り組みは、これからも続く。

アプリには、「子どもに優しい場所」「地域の歴史/文化財」などの魅力あるスポットから「ごみの不法投棄」な

■Google App Sheetとは  
Google Cloudのサービスの1つとして提供される、ノーコードでアプリを開発できるプラットフォーム。ノーコードとは、プログラミングを行うことなく、画面上で各種設定やUI/UXデザインを実施することでアプリを開発する手法のこと。ITエンジニアでない人でもアプリを開発することができる。アプリの開発とテストは無料。加入プランを問わず、全ての機能を無料で開発、テストすることができる。教育機関および非営利団体には割引がある。ただし2023年2月時点で日本語に対応しておらず、英語版のみ。

■グリーンマップとは  
世界共通の169個の「グローバルアイコン」と呼ばれる絵文字を使い、地域の中の環境負荷を調査しながら、地図に表す環境マップのこと。グリーンマップの参加者は世界中で650都市、55カ国にもものぼるとされる。グーグルマップ上にアイコンを書き込むオンラインマッピングも可能。今回、「まち歩き」のツールとして活用した。環境課題のみにとどまらず、幅広くまちの課題や魅力を発見・共有・発信できるので、今後の活用可能性は大きいと考えられる。参考:グリーンマップジャパン 公式サイト

## 自治労情報宣伝セミナーを開催します

- 講座① 開催日程 10月27日(金) 13:00~17:00  
講座内容 パワーポイントでビラづくり  
講師 ヨッシー・イリエ(自治労愛知県本部特別執行委員)
- 講座② 開催日程 10月28日(土) 09:00~13:00  
講座内容 Wordでつくる機関紙  
講師 池口忠史(自治労大阪府職労 労働支部長)

Zoomのみの実技講習です。プログラム詳細、参加申し込みは各県本部まで。参加費無料。締め切り10月20日(金) お問い合わせ:自治労総合企画総務局(報道担当) TEL03-3626-0273 Eメール: houdou@jichiro.gr.jp